

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場会社名 FDK株式会社
 コード番号 6955 URL <http://www.fdk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 望月 道正
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 平野 芳晴
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月4日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3434-1271

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	53,639	△12.5	△1,274	—	△849	—	△693	—
24年3月期第3四半期	61,304	△15.7	27	△99.3	△210	—	45	△98.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △662百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △691百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△3.19	—
24年3月期第3四半期	0.21	0.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	58,542	6,331	7.8
24年3月期	58,427	6,993	8.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,563百万円 24年3月期 4,699百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	△6.6	300	119.3	550	420.4	1,000	178.2	4.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	217,505,884 株	24年3月期	217,505,884 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	232,910 株	24年3月期	229,956 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	217,274,945 株	24年3月期3Q	217,277,550 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下の通りです。

第一回優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年 3 月期		0.00		0.00	0.00
25年 3 月期		0.00			
25年 3 月期(予想)				0.00	0.00

第二回優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年 3 月期		0.00		0.00	0.00
25年 3 月期		0.00			
25年 3 月期(予想)				0.00	0.00

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間に関して上期の経営実績に象徴されます通り、市場の低迷、売上の伸び悩みが継続しております。当社グループはこのような環境下でも利益を出せる体質への変革に取り組んでまいりました。この努力が当第3四半期連結会計期間においてようやく成果を見せており、前第3四半期連結会計期間比減収ながらも増益という成績となりました。具体的には、製品のコストダウンはもとより、商流の見直し、生産性の向上、徹底的なムダの排除による固定費の削減に努めたことにより、売上高は185億30百万円（前年同期は、194億67百万円）、営業利益は3億51百万円（前年同期は、2億23百万円の営業損失）、経常利益は8億74百万円（前年同期は、1億34百万円の経常損失）、四半期純利益は8億72百万円（前年同期は、1億80百万円の四半期純利益）であります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、第1四半期連結累計期間以降の予想を上回る販売数量の減少により前年同期に比べ76億64百万円減少の536億39百万円となり、営業損失は固定費等の削減に努めたものの、市場の落ち込みによる大幅な販売減により12億74百万円（前年同期は、27百万円の営業利益）、経常損失は8億49百万円（前年同期は、2億10百万円の経常損失）、四半期純損失は6億93百万円（前年同期は、45百万円の四半期純利益）となりました。

事業別の売上概況は以下のとおりです。

電池事業

アルカリ乾電池は、東日本大震災発生後、市場に大量に流入した輸入品による流通在庫の影響が解消されつつあるものの、国内外におけるOEM販売が大幅に減少したことから、前年同期を大きく下回りました。ニッケル水素電池は、欧米市場で低価格品への置き換えや国内の市況低迷により、前年同期を大きく下回りました。リチウム電池は、北米向けのセキュリティ用途が堅調だったものの、欧州ならびに国内の防災機器、セキュリティ用途が振るわず、前年同期を大きく下回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ61億52百万円減少の334億45百万円となりました。

電子事業

スマートフォン市場の拡大により、高周波積層部品やモバイルモジュールが堅調に推移し、レンズ交換型デジタルカメラの拡大により圧電部品が順調に推移したものの、情報通信インフラへの投資低迷により、サーバ・ストレージ向けのスイッチング電源や海底通信に使用される光通信用部品が前年同期を大きく下回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ15億12百万円減少の201億94百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ1億15百万円(0.2%)増の585億42百万円となりました。流動資産は前連結会計年度に比べ4億21百万円(1.2%)減の348億53百万円、固定資産は前連結会計年度に比べ5億36百万円(2.3%)増の236億89百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が9億52百万円減少したことによるものです。固定資産増加の主な要因は、有形固定資産が5億86百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ7億77百万円(1.5%)増の522億11百万円となりました。流動負債は前連結会計年度に比べ10億37百万円(2.5%)増の427億47百万円、固定負債は前連結会計年度に比べ2億59百万円(2.7%)減の94億63百万円となりました。流動負債増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が7億45百万円減少しましたが、短期借入金が増加した15億25百万円増加したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、リース債務が6億75百万円増加しましたが、負ののれんが5億69百万円、退職給付引当金が3億34百万円それぞれ減少したことによるものです。

なお、有利子負債残高は、前連結会計年度に比べ22億70百万円増の242億47百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ6億62百万円(9.5%)減の63億31百万円となりました。純資産減少の主な要因は、為替換算調整勘定が5億56百万円増加しましたが、利益剰余金が6億93百万円、少数株主持分が5億25百万円それぞれ減少したことによるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費の計上や売上債権の減少などによる現金及び現金同等物(以下「資金」という)の増加はありましたが、税金等調整前四半期純損失の計上や仕入債務の減少などによる資金の減少により11億57百万円の資金減少(前第3四半期連結累計期間は5億円の資金増加)となりました。

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより10億26百万円の資金減少(前第3四半期連結累計期間は8億13百万円の資金減少)となりました。

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加などにより12億94百万円の資金増加(前第3四半期連結累計期間は36億27百万円の資金増加)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間末の資金残高は期首残高より6億70百万円減少し、52億4百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想は、平成24年10月30日発表の公表値を据え置いております。

なお、今後、市場の動向など各種情報の収集に努め、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、開示府令第19条第10項に規定する特定子会社の異動はございません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,178	5,226
受取手形及び売掛金	19,753	19,409
商品及び製品	2,640	3,029
仕掛品	3,556	3,273
原材料及び貯蔵品	1,583	1,698
繰延税金資産	107	115
その他	1,512	2,155
貸倒引当金	57	54
流動資産合計	35,274	34,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,537	7,894
機械装置及び運搬具(純額)	7,517	6,796
工具、器具及び備品(純額)	778	854
土地	3,409	3,415
リース資産(純額)	462	1,209
建設仮勘定	901	1,023
有形固定資産合計	20,605	21,192
無形固定資産		
投資その他の資産	819	771
投資有価証券	144	148
長期貸付金	3	1
繰延税金資産	194	219
その他	1,386	1,356
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	1,728	1,725
固定資産合計	23,152	23,689
資産合計	58,427	58,542

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,911	15,165
短期借入金	21,277	22,803
リース債務	297	367
未払金	1,864	1,714
未払法人税等	152	141
災害損失引当金	156	137
その他	2,050	2,419
流動負債合計	41,710	42,747
固定負債		
リース債務	402	1,077
繰延税金負債	3	2
退職給付引当金	6,824	6,489
負ののれん	2,087	1,518
その他	405	375
固定負債合計	9,723	9,463
負債合計	51,433	52,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,301	28,301
資本剰余金	22,622	22,622
利益剰余金	44,220	44,914
自己株式	41	42
株主資本合計	6,661	5,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	10
為替換算調整勘定	1,971	1,414
その他の包括利益累計額合計	1,961	1,404
少数株主持分	2,294	1,768
純資産合計	6,993	6,331
負債純資産合計	58,427	58,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間
 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	61,304	53,639
売上原価	53,501	47,091
売上総利益	7,803	6,548
販売費及び一般管理費	7,775	7,823
営業利益又は営業損失()	27	1,274
営業外収益		
受取利息	15	11
為替差益	-	104
負ののれん償却額	569	569
受取賃貸料	13	17
その他	188	86
営業外収益合計	786	789
営業外費用		
支払利息	118	122
為替差損	523	-
固定資産除却損	186	55
その他	196	185
営業外費用合計	1,024	363
経常損失()	210	849
特別利益		
損害賠償金戻入額	117	-
災害損失引当金戻入額	105	-
土地売却益	85	-
特別利益合計	307	-
特別損失		
和解金	-	239
特別損失合計	-	239
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	97	1,088
法人税、住民税及び事業税	147	160
法人税等調整額	52	29
法人税等合計	199	130
少数株主損益調整前四半期純損失()	101	1,219
少数株主損失()	147	525
四半期純利益又は四半期純損失()	45	693

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	101	1,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	0
為替換算調整勘定	561	492
持分法適用会社に対する持分相当額	33	64
その他の包括利益合計	590	557
四半期包括利益	691	662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	538	136
少数株主に係る四半期包括利益	153	525

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	97	1,088
減価償却費	2,632	2,207
退職給付引当金の増減額(は減少)	129	334
貸倒引当金の増減額(は減少)	7	5
受取利息及び受取配当金	44	13
支払利息	118	122
為替差損益(は益)	12	6
持分法による投資損益(は益)	79	60
有形固定資産売却損益(は益)	83	6
固定資産除却損	186	55
負ののれん償却額	569	569
和解金	-	239
売上債権の増減額(は増加)	521	1,074
たな卸資産の増減額(は増加)	1,708	45
仕入債務の増減額(は減少)	1,837	1,421
未払費用の増減額(は減少)	1,108	61
その他	822	887
小計	1,009	680
利息及び配当金の受取額	44	13
利息の支払額	159	122
法人税等の支払額	394	135
和解金の支払額	-	232
営業活動によるキャッシュ・フロー	500	1,157
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	309	18
定期預金の払戻による収入	3	300
有形固定資産の取得による支出	2,442	2,096
有形固定資産の売却による収入	129	833
無形固定資産の取得による支出	41	51
投資有価証券の取得による支出	2	2
関係会社株式の売却による収入	1,846	-
その他	3	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	813	1,026
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	3,845	1,521
自己株式の取得による支出	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	216	226
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,627	1,294
現金及び現金同等物に係る換算差額	285	219
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	3,029	670
現金及び現金同等物の期首残高	4,156	5,875
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,186	5,204

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電池事業	電子事業			
売上高					
外部顧客への売上高	39,598	21,706	61,304		61,304
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	39,598	21,706	61,304		61,304
セグメント利益又は損失()	136	164	27		27

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電池事業	電子事業			
売上高					
外部顧客への売上高	33,445	20,194	53,639		53,639
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	33,445	20,194	53,639		53,639
セグメント利益又は損失()	1,781	507	1,274		1,274

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。